



## 突然死をまねく血管が切れるメカニズム

「強い血管をつくる習慣」宝島社より

### ●血管が切れる主な原因は動脈硬化

人間の血管は、内側から内膜、中膜、外膜の三層構造（例外的に毛細血管は内膜だけしかない）となっています。その形状は、ゴムホースにそっくりです。

古くなったゴムは、しなやかさを失って伸びにくく、ゴワゴワと硬くなりますが、血管も同じように老化をすると、**血管壁が硬くなったり、血液の通り道が狭く**なったりします。

この血管の老化現象のことを、特に動脈硬化といいます。

動脈硬化によって血管壁のしなやかさを失うと、血管は切れやすくなり、また内部が狭くなると詰まりやすくなります。

血管が切れたり、詰まったりすると重篤な血管病を発症します。

### ●血管が切れるさまざまな病気

血管の老化現象である動脈硬化が進行して、硬くもろくなった血管が切れてしまう病気は、血管が切れる場所、または血管の切れ方によって、病名が変わります。

脳の血管が切れて出血すると**脳出血**を引き起こします。急逝する人の死因として、耳にすることも多い**くも膜下出血**も、この脳出血の一種です。

胸部や腹部にある太い血管の一部に血液がたまり、瘤と呼ばれるふくらみができ、それが破裂すると**大動脈瘤破裂**を発症します。

**大動脈解離**は、大きな動脈の内層が損傷して、そこから血液が中膜との間に入り込むことで、血管の層構造が裂けて解離してしまう病状です。多くの場合は激痛がともないます。

大動脈瘤破裂と大動脈解離は、心臓に近い部分で起こると特に危険といわれています。

これらの血管病はすべて、最悪の場合は発作を起こして、そのまますぐに命を落としてしまうこともある恐ろしい病気です。

イスラエルの赤い宝石「ドナリエラ」愛の一粒運動実施中！！